

[ホーム](#)[創る](#)[暮らす](#)[楽しむ](#)[学ぶ](#)[知る](#)

[ホーム](#) > [重要事項](#) > [東日本大震災](#) > [県内農産物・畜産物・水産物等への影響](#) > 福島第一原子力発電所事故に伴う県内水産物の分析結果について(11月4日現在)【漁政課】

## 福島第一原子力発電所事故に伴う県内水産物の分析結果について(11月4日現在)【漁政課】

公開日 2011年11月10日

本県沖の水産物の調査につきましては、東日本大震災以降、県内では漁港被害などから操業が一時すべて停止していましたが、順次操業を再開しております。それに伴い、幅広い魚種を対象に調査を実施しており、これまでの検査実績は、85魚種、合計563サンプルとなっております。現在は福島県で暫定規制値を越えたアイナメやカレイ類等11魚種を重点的に検査しています。

また、水産加工品についても検査を実施しており、現在の実績は、18品目、合計28サンプルです。

[漁政課ホームページ](#)でも関連する情報を提供しています。

9月1日 テナガエビ(霞ヶ浦北浦)のデータを追加しました。

9月5日 アオメエソ(メヒカリ)のデータを追加しました。

9月5日 エゾイソアイナメ(ドンコ)から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されました。

### [茨城県エゾイソアイナメ\(ドンコ\)の分析結果と今後の対応](#)

9月13日 エゾイソアイナメの結果を受けて重点的に検査を行った結果を公表しました。新たにアカムツ、クロウシノシタ(アオシカ)、スルメイカ(マイカ)、ネズツポ類(メゴチ)、マトウダイ、ユメカサゴ(ノドグロ)のデータを追加しました。

9月17日 メジマグロ(クロマグロ幼魚)、イナダ(ブリ幼魚)、サケ(内水面)のデータを追加しました。

9月30日 ケガニ、メダイ、釜揚げシラスのデータを追加しました。

10月7日 カガミダイ、カナガシラ、クロイソ、マダコ、ミギガレイ、ミズダコ(サクラダコ)のデータを追加しました。

11月4日 カエリ(カタクチイワシ幼魚)、コモンカスベ、シイラのデータを追加しました。

11月4日 10月12日公表分よりセシウムの表示を細分化し、「検出せず」の場合、検出限界値を記載するようにしました。

## 分析調査を行った魚種

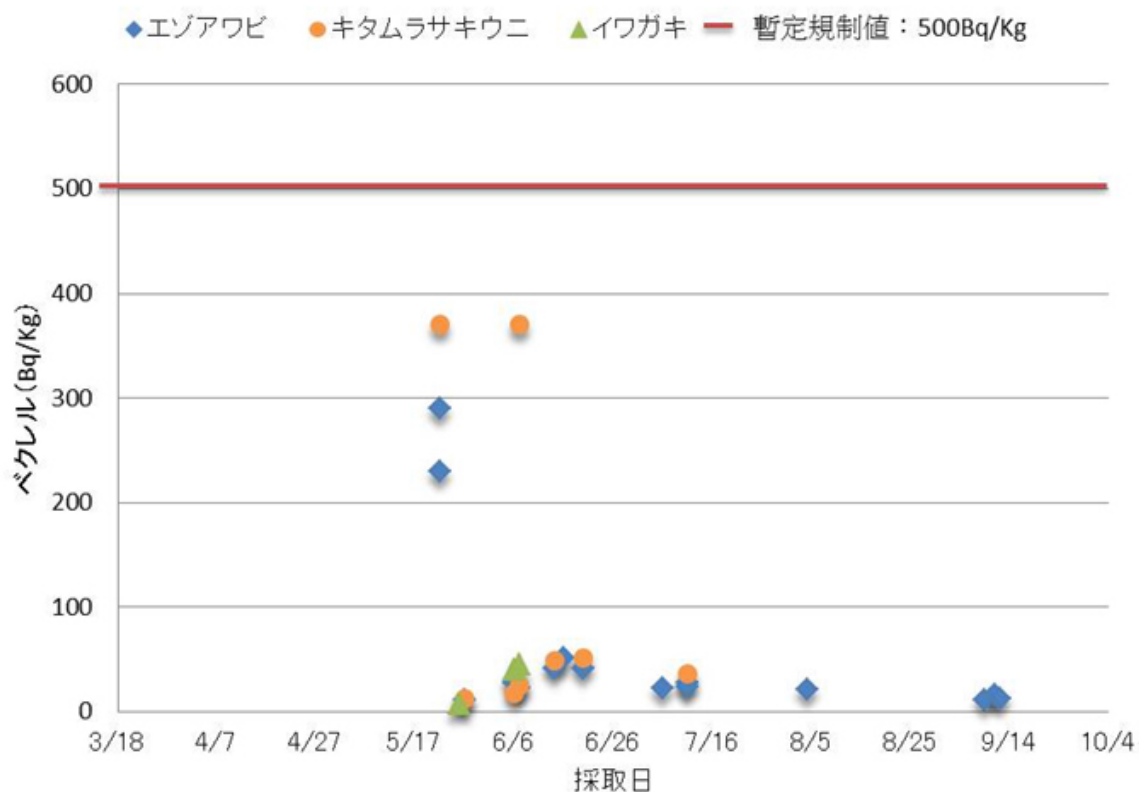
### ○水産物

○浅い磯に生息する魚介類(5種類)

・イセエビ、イワガキ、エゾアワビ、キタムラサキウニ、マナマコ

- ・大洗町より北の磯で潜水(イセエビは刺網)により漁獲されております。イセエビ刺網は10月、11月は禁漁、潜水も10月で操業が終わりました。
- ・いずれの魚種も規制値を下回っています。
- ・採取日 平成23年5月22日から9月21日
- ・サンプル数 合計29件

### 浅い磯に生息する主要魚介類の放射性セシウム濃度の推移



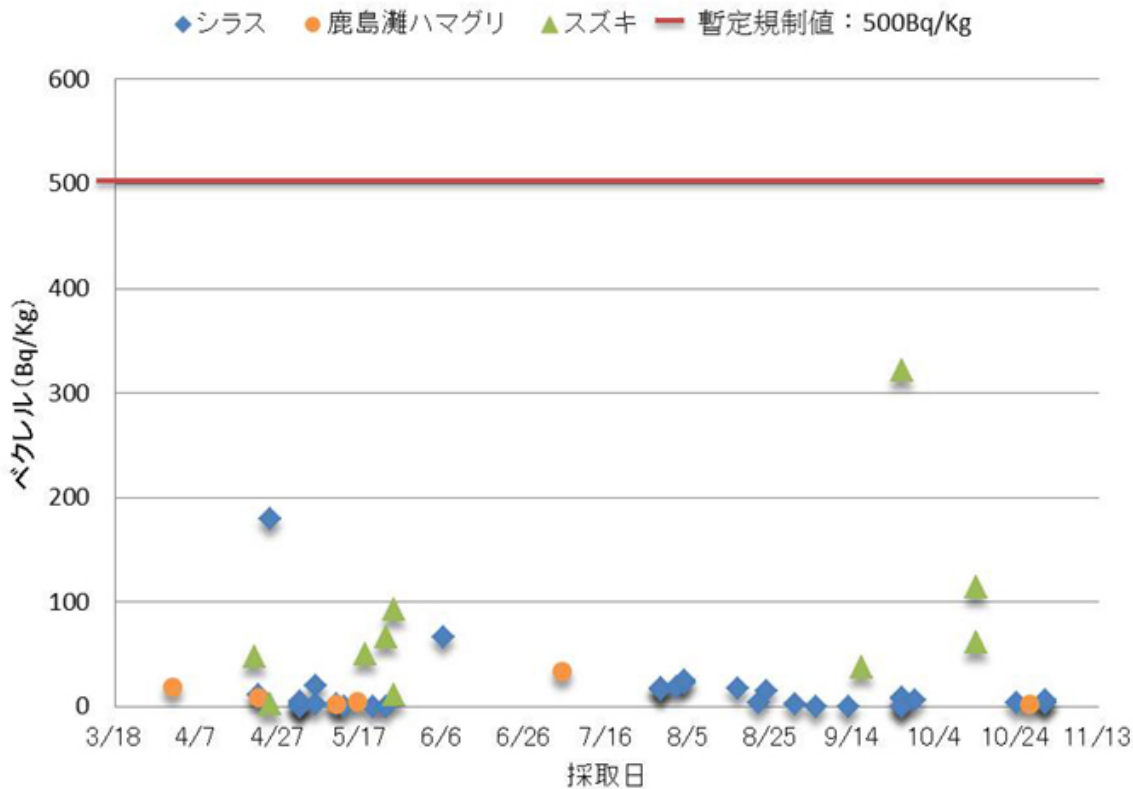
[上記魚種すべての検査結果一覧\(平成23年9月13日現在\)](#) PDF: 14KB

○沿岸近くの表層から中層に生息する魚介類や砂浜に分布する二枚貝(9種類)

・イカナゴ(コウナゴ)、ウバガイ(ホッキガイ)、カエリ(カタクチイワシ幼魚)、鹿島灘はまぐり、サヨリ、シラウオ(イシカワシラウオ)、シラス、スズキ、ノレソレ(アナゴの稚魚)

- ・カエリ、シラウオ、シラスは県全域で船びき網で漁獲されますが、平湯、大津(北茨城市)、川尻(日立市)地区では休漁です。
- ・イカナゴ、サヨリ、ノレソレは現在漁期ではありません。
- ・ウバガイ、ホッキガイは大洗以南の砂浜で漁獲されます。
- ・シラスは6月中旬から7月末まで操業実績はありません。
- ・イカナゴ(コウナゴ)を除き、いずれの魚種も規制値を下回っております。
- ・採取日 平成23年4月1日から10月31日
- ・サンプル数 合計65件

## 沿岸表中層に生息する主要魚類、二枚貝の放射性セシウム濃度の推移



[📄 上記魚種すべての検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 17KB ※イカナゴ(コウナゴ)を除く。

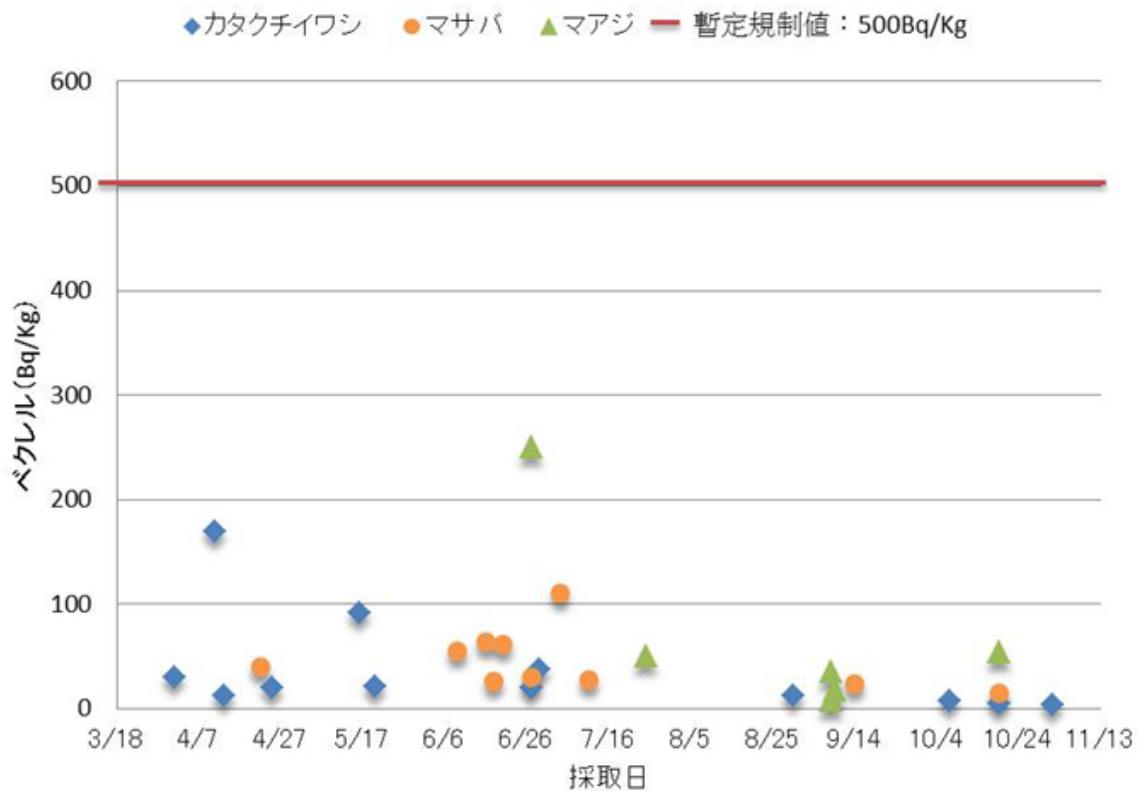
コウナゴの分析結果はコウナゴの分析項目をご覧ください。

○近海の表層から中層に生息する魚介類(8種類)

・イナダ(ブリ幼魚)、カタクチイワシ、ゴマサバ、シイラ、マアジ、マイワシ、マサバ、メジマグロ(クロマグロ幼魚)

- ・ 三陸沖から房総沖まで広く漁場が形成され、主にまき網により漁獲されます。まき網の主漁場は現在八戸沖と銚子沖です。
- ・ 日立市の定置網でも水揚げされています。
- ・ いずれの魚種も規制値を下回っています。
- ・ 採取日 平成23年4月1日から11月1日
- ・ サンプル数 合計47件

## 近海表中層に生息する主要魚類の放射性セシウム濃度の推移



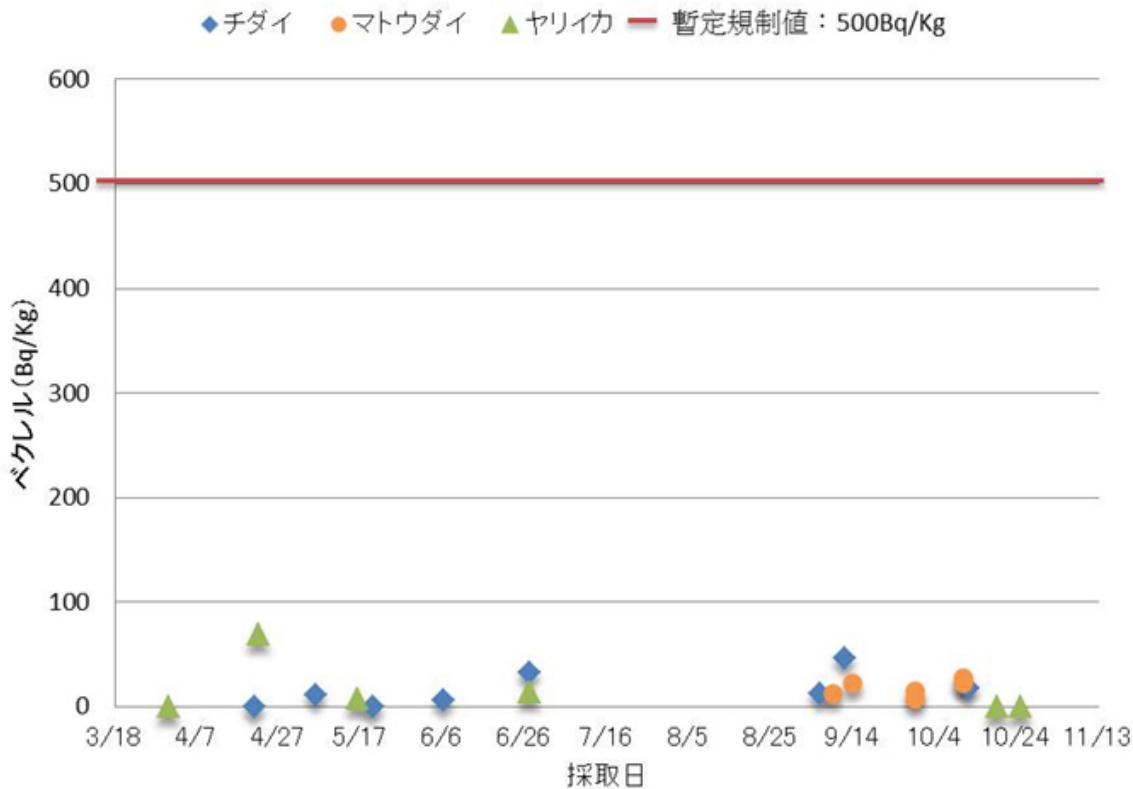
[上記の魚種すべての検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 14KB

○沿岸から近海の中～底層に生息する魚介類(14種類)

・ウスメバル(アカメバル)、ウマヅラハギ、カガミダイ、ショウサイフグ、シログチ(イシモチ)、シロメバル、ジンドウイカ(ミズイカ)、スルメイカ(マイカ)、チダイ(カスゴ)、マダイ、マトウダイ、マフグ、メダイ、ヤリイカ

- ・これらの魚種は茨城県の沿岸から水深100メートル程度の中層から底層に広く分布し、様々な漁法で漁獲されます。
- ・メバル(クロメバル)については、シロメバルと表記を改めました。
- ・いずれの魚種も規制値を下回っています。
- ・採取日 平成23年3月31日から10月25日
- ・サンプル数 合計55件

## 近海中底層に生息する主要魚介類の放射性セシウム濃度の推移



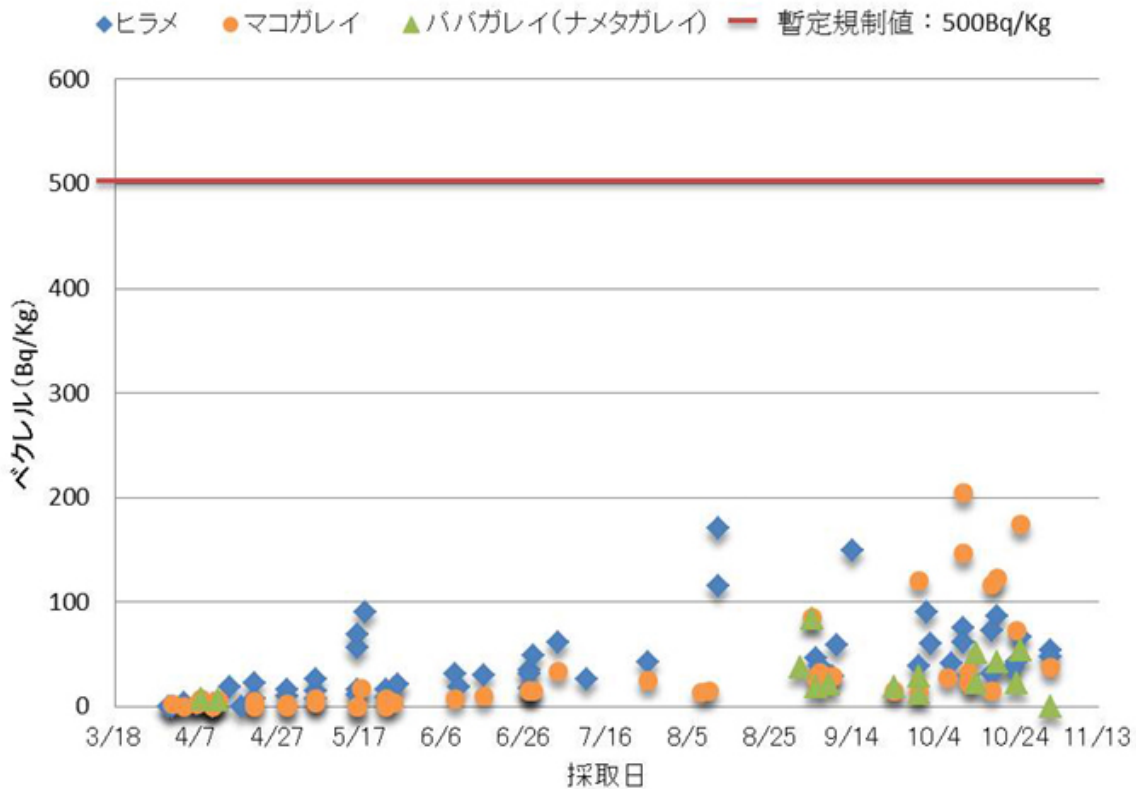
[上記の魚種すべての検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 15KB

### ○浅い海底に生息する魚介類(24種類)

・アイナメ、アカエイ、アカシタビラメ、アナゴ、エゾイソアイナメ(ドンコ)、イシガレイ、カナガシラ、サルエビ、クロウシノシタ(アオウシカ)、コモンカスベ、クロソイ、ツマリカスベ(エイの1種、サボミヤ)、ババガレイ(ナメタガレイ)、ヒラツメガニ、ヒラメ、ヌマガレイ、ネズッコ類(メゴチ)、ホウボウ、マガレイ、マコガレイ、マゴチ、マダコ、ミギカレイ、ムシガレイ、メイタガレイ

- ・これらの魚種は魚種によって主な分布域は異なりますが、茨城県の沿岸から水深100メートル程度の海底に広く分布しており、底引き網、刺網などで漁獲されています。
- ・9月1日に採取した日立沖のエゾイソアイナメから規制値を超える放射性セシウムが検出されました。
- ・採取日 平成23年3月31日から11月1日
- ・サンプル数 合計213件

## 浅海底に生息する主要魚類の放射性セシウム濃度の推移



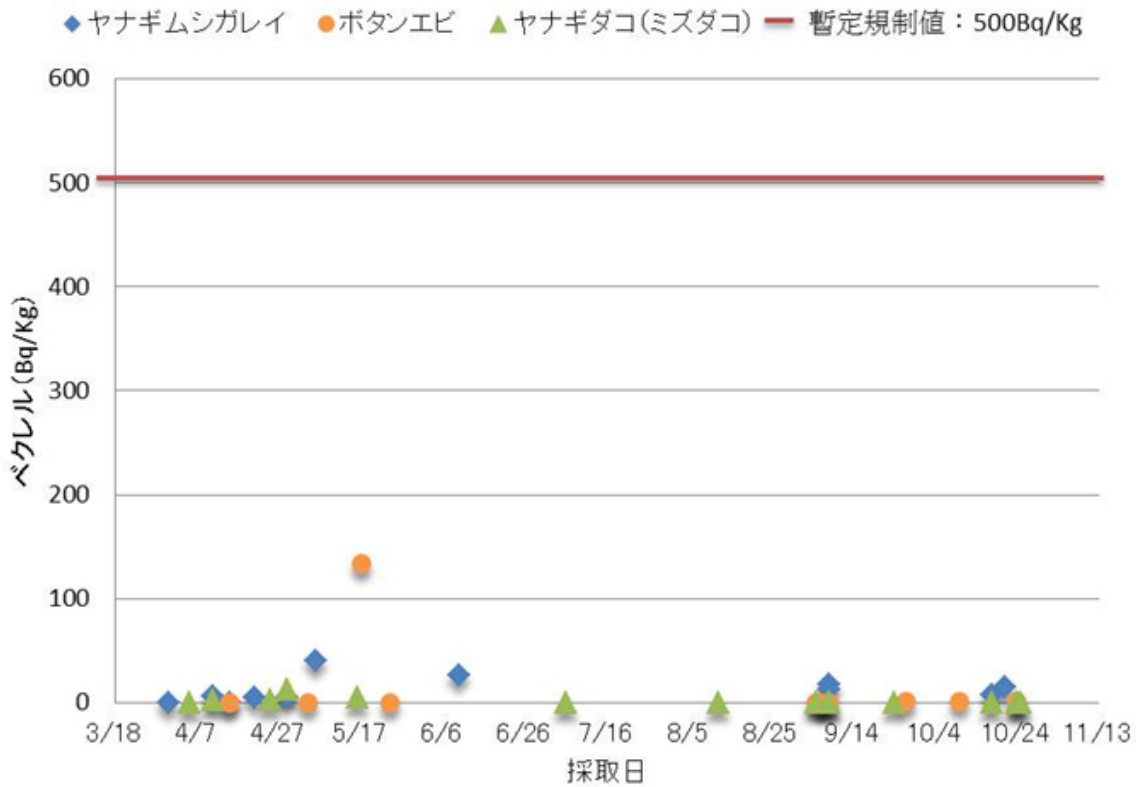
[📄 上記の魚種すべての検査結果一覧\(エゾイソアイナメを除く\)\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 37KB

### ○深い海底に生息する魚介類(13種類)

・アオメエソ(メヒカリ)、アカガレイ、アカムツ、アンコウ、キチジ(キンキ)、ケガニ、シライトマキパイ、ポタンエビ、マダラ、ミズダコ(サクラダコ)、ヤナギダコ(ミズダコ)、ヤナギムシガレイ、ユメカサゴ(ノドグロ)

- ・これらの魚種は茨城県で漁獲される魚としては最も深い海底(水深500メートル程度)までに分布し、主に底びき網で漁獲されています。
- ・いずれの魚種も規制値を下回っています。
- ・採取日 平成23年3月31日から10月31
- ・サンプル数 合計80件

## 深海底に生息している主要魚介類の放射性セシウム濃度の推移



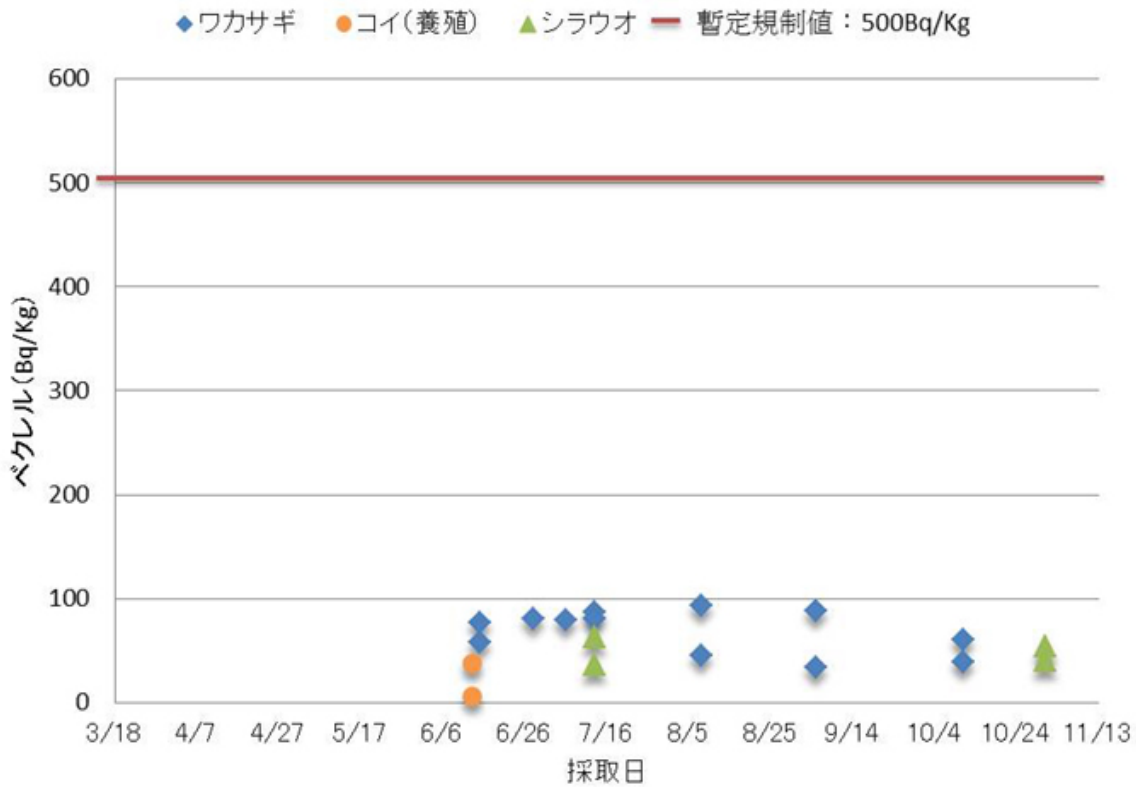
[上記の魚種すべての検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 18KB

○霞ヶ浦北浦の魚類(7種類)

・アメリカナマズ(養殖)、ウナギ、コイ(養殖)、シラウオ、テナガエビ、ヌマチチブ(ハゼの1種、ゴロ)、ワカサギ

- ・ 7月21日に解禁となったワカサギや、シラウオ、エビ、ゴロを主体に操業が行われており、網いけすではコイやアメリカナマズが養殖されています。
- ・ いずれの魚種も規制値を下回っています。
- ・ 採取日 平成23年6月13日から10月31日
- ・ サンプル数 合計24件

## 霞ヶ浦北浦の主要魚類の放射性セシウム濃度の推移



[☞ 上記の魚種全ての検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 11KB

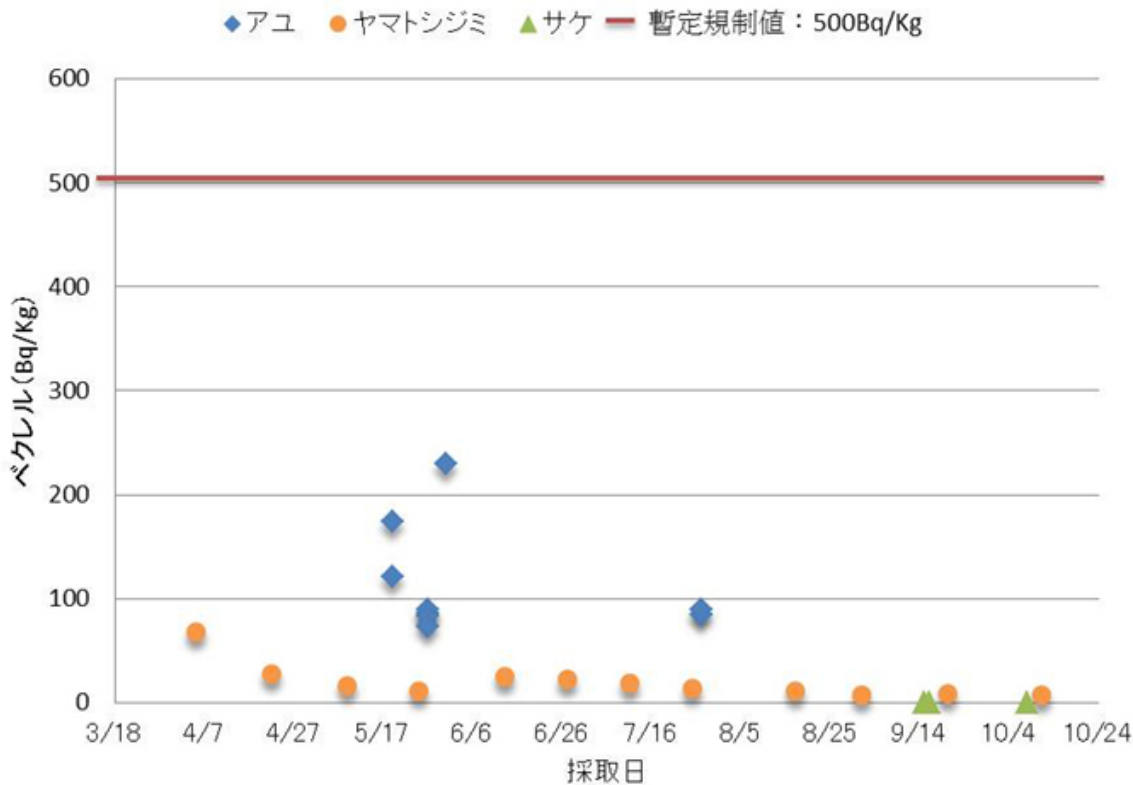
○内水面の魚介類(4種類)

・アユ、サケ、シジミ、ヤマメ(養殖)

- ・ 潟沼ではシジミ漁が行われ、河川には、サケがそ上しています。
- ・ いずれの魚種も規制値を下回っています。
- ・ 採取日 平成23年4月5日から10月11日
- ・ サンプル数 合計25件



## 内水面の主要魚介類の放射性セシウム濃度の推移



[上記の魚種すべての検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 11KB

[これまでの全ての魚介類の検査結果一覧\(平成23年11月4日現在\)](#) PDF: 50KB

## ○水産加工品

○次の18品目

- ・ 揚げかまぼこ、あわびもどき(ロコ貝煮貝)、貝焼きウニ、かたくちいわし煮干し、かたくちいわし丸干し、さばみりん干し、釜揚げしらす、さんまみりん干し、しらす干し、つのまた(乾燥)、煮たこ、ほっけ開き、まいわし丸干し、まいわし(冷凍)、蒸したこ、ワカサギ煮干し、わかめ(乾燥)、わかめ(塩蔵)
- ・ いずれも規制値を下回っています。

採取日 平成23年3月20日から9月26日

- ・ サンプル数 合計26件
- ・ 放射性ヨウ素 最大46Bq/kg～最低 検出せず 規制値2000Bq/kg
- ・ 放射性セシウム 最大129Bq/kg～最低 検出せず) 規制値500Bq/kg

[上記加工品すべての検査結果一覧\(平成23年9月27日現在\)](#) PDF: 100KB

## 茨城産 コウナゴの分析結果について

本県沿岸で漁獲されるイカナゴ(コウナゴ)については、平成23年4月5日付けで安全が確認されるまで出荷を控えるようお願いしておりましたが、県内の漁業関係者でつくる県漁業関係震災対策本部は、4月30日、今期の操業を行わないことを決定しました。北茨城市沖及び高萩市沖以外のコウナゴからは規制値を超える値は検出されておりません。

なお、震災以降、県内でイカナゴ(コウナゴ)は一切水揚げされておりませんので、店頭に出回っている本県産コウナゴ(小女子)の煮干しや佃煮は心配ありません。

[コウナゴの分析結果一覧\(平成23年4月30日現在\)](#) PDF: 4KB

[漁政課ホームページ](#)

PDF形式のファイルを開くには、Adobe Reader(旧Adobe Acrobat Reader)が必要です。  
お持ちでない方は、Adobe社から無償でダウンロードできます。



[Adobe Readerのダウンロードへ](#)



## お問い合わせ

農林水産部 漁政課

電話 029-301-4070

[プライバシーポリシー](#) [著作権・リンク・免責事項](#) [お問い合わせ](#) [ホームページの使い方](#)